

No.25

## 花と人

Flower with Two Persons

素敵な気持ちを、そのまま文章にできない自分がいて、  
それでも伝えたい言葉があり、  
花の中に隠れている人のように……



花の美しさ自体に、芸術があるのではなく  
それを見て、  
美しいと感じる人の心があり、  
芸術として成立する

つまり、見る人の感性が無ければ、  
どんなに美しい風景も、ただの物質でしかない  
僕も、ただの物質でしかない  
君も、ただの物質でしかない  
ロボットも宇宙も花びらも、  
物質の集合体であろう

僕はどんな顔をして  
一体、どこへ行こうとしているのだろうか？  
僕は、失くした「あばら骨の一本」を探しに、  
片方の胸を押さえながら、  
もう片方の手でネジを巻いていく

枯れ果てた花は  
やがて、新しい種となるだろう